

## 三次市行財政改革推進審議委員会 会議の要旨

- 1 日 時 平成 23 年 6 月 10 日(金) 9 時 30 分 ~ 11 時 30 分
- 2 場 所 三次市役所東館 2 階会議室
- 3 出席委員 野原会長，山田委員，湯藤委員，鷲尾委員，當天委員，  
今澤委員，村山委員，森下委員
- 4 事務局 三次市地域振興部企画調整課企画調整係  
出席者 藤井地域振興部長，山本企画調整課長，  
杉原企画調整係長，宮脇企画調整係主任
- 5 会議の内容  
(1)次期三次市行財政改革大綱(案)について
- 6 会議の資料名一覧  
資料 1 次第  
資料 2 次期行財政改革大綱(案)について

## 三次市行財政改革推進審議委員会 議事要旨

### 議事内容

#### 次期三次市行財政改革大綱について

#### 各委員から出された意見

- ・重複している箇所があり，流れが悪い。最初に言いたいことを入れたほうがわかりやすいのではないか。
- ・大綱は大綱としてわかりやすい表現で目的を明示してほしい。
- ・4頁改革の必要性の中の「拠点性」は，具体的に重点項目の中に反映されているのか教えて欲しい。
- ・6頁の求められる姿の地域の中に「雇用の場の拡大」が入っているが，後ろの重点項目の中に，企業誘致などの言葉が見えない。
- ・10頁の(3)市役所の自己改革の中に監査機能の強化が入っている。前は1透明な市政と市民協働の地域づくりへ入っている。監査については，色々な市町でも市民協働に入っていることが多い。(3)市役所の自己改革に入るのはいいのかどうか。「外部監査」が主目的なら，むしろ情報公開と同じ位置づけで(1)協働のまちづくりへ入れたほうがいい。
- ・一番感じたのは，5頁の新しい公共の意味するところが重点項目に反映されていない。  
例えば，10頁の 自主・自立の地域づくりについて書かれているが，これはまさにボランティアなど「新しい公共」を担う人材育成そのものなので，ここにも連動させ，反映した方がいい。  
色々な箇所で重点項目と新しい公共との関係をわかりやすく入れることが必要である。
- ・「新しい公共」については，もう少しわかりやすく，「三次の考える新しい公共はこうだ」でいいと思う。

- ・「新しい公共」という言葉が使われているが、意味するところが、協働とか、住民自治とか、民営化とかと「新しい公共」がイコールの使われ方をしている。

従来の「公」の中には多様な団体組織が入っていることも「新しい公共」だが、それとは別に、もともと「私」の領域にも、「公」と「私」の中間の領域にも、新しい主体が入ってくることをも意味しているのではないか。

こうしたことから考えると大綱内では、今までの「公」の中に「私」を入れる、形として民営化とかアウトソーシングが謳われているが、もっと大きい空間から考えたときに「私」の中にも「公」も入るのではないか。とすれば考え方として、市役所の自己変革の中へ「公」の部分の方々も積極的に「私」の部分へ出て行く旨を姿勢として打ち出せるのではないか。

- ・絆とか、コミュニティの再構築という表現があったらいい。
- ・数値化の難しいもの、例えば（１）協働のまちづくりの中の NPO やボランティアの育成などには、相当時間がかかる。ある程度の具体的な案、もしくは市職員がボランティア等に参画をする中でスキルを身につけていくなど、単に外部の講師ではなく、地域に即した中で何らかのタタキ台を考えて進めて欲しい。
- ・三次の今後の考え方として、交流人口を増やしていくような方向性が期待される。
- ・高齢者の出番についても、書き足らないのではないか。
- ・記述の中に「公共サービス」と「行政サービス」があるが、「行政サービス」とは何か行政と住民では意見が違うのではないか。統合が必要である。
- ・職員の意識改革が必要。
- ・毎年度末状況をチェックして、翌年に反映させるということが、入っていないので入れたほうがいいのではないか。もしくは、推進体制に入れるか。自己チェックでもいいのではないか。
- ・行政チェックは、下に注釈をいれたらどうか。